

市史編さんだより

第11回

『新編 桐生市史』編集委員

近現代部会長

宮崎 俊弥

「前原準一郎と生活改善運動」

前原準一郎（明治12（1879）年12月12日生まれ）は、明治時代から桐生の機械工業をリードしてきた桐生製作所（後の桐生機械）を創業し、発展させた人物です。

昭和16（1941）年に同社の社長を退任した前原準一郎は、戦後、全国的に行われた生活改善運動に尽力しました。生活改善運動とは、これまでの古い習慣を見直し、戦後の民主主義にふさわしい社会生活を指した運動です。桐生では

桐生市社会教育協会（昭和22年設立）の中の生活改善委員会が中心となって運動を展開し、前原準一郎はその委員長として同会を指導しました。

前原千明家資料によれば、前原準一郎は地元の新聞などに自らの意見を数多く投稿し、市民に対して生活改善の啓発活動を行い、これらの意見を集約した「これからの社会生活」という冊子を桐生市社会教育協会から昭和26

（1951）年12月に発行しました。

この冊子には「時間と寿命」や「民主的な会食」など、合計25項目の生活改善の意見が分かりやすい表現で述べられています。ここ

には「幸福で円満な社会生活には人への思いやりが大切」「無駄を省き能率的な日常生活を送る」という前原準一郎独自の考え方を見ることが出来ます。

また、円満寺にある前原準一郎の墓碑には、「生き甲斐二世のために尽くす度合を大きく 自分のためにする度合を小さく」と彼の言葉が刻まれています。

近現代部会では今後も桐生で多彩な活動を行った人物について、調べていきたいと思えます。

問い合わせ先 市史編さん室
☎477335



▲前原準一郎の肖像画



▶前原準一郎が書き著した「これからの社会生活」

桐生っ子

市内に居住する3歳まで（申し込み時）の桐生っ子を募集します。

申し込み = Eメール (miryoku@city.kiryu.lg.jp) にお子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、住所、保護者氏名、電話番号を記入し、お子さんの画像データを添付のうえ、魅力発信課（☎内線505）へ。



なかじま はやと
中嶋 颯斗ちゃん
9か月
(広沢町四丁目)



たきざわ そういちろう
瀧澤 壮一朗ちゃん
7か月
(広沢町三丁目)



うらの らいと
浦野 雷煌ちゃん
3歳2か月
(新里町山上)

広告